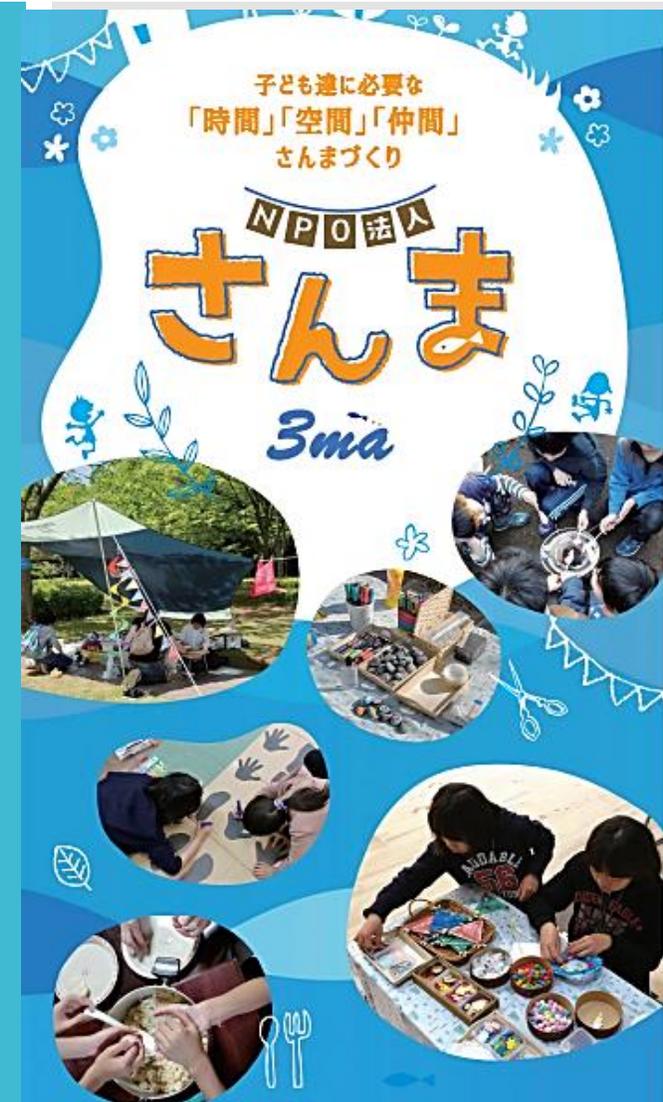


# 活動の中の見守り

2022・11・21

NPO法人 **さんま**  
石川 静枝



2018年7月  
NPOとして団体を立ち上げる

### 主な事業 こどもの居場所事業

- さんま食堂開催 毎月第二月曜日  
さんまのいえミニ食堂 毎月第三火曜日  
ひとり親支援 毎月第四月曜日  
おすそわけの日 毎月第四金曜日
- 樋野口こども館運営
- 青少年プラザ松戸popcorn  
運営スタッフ
- 地域団体とコラボイベント開催
- まつどでつながるプロジェクト運営  
など



誰でも気軽に自由に

みんなで作ったり遊んだりぶしゃべりしたり

1人で、友達と、家族と

子ども達に必要な「時間」「空間」「仲間」

さんまづくり

NPO法人 さんま 設立の目的

「子どもの権利条約」の精神に鑑み  
すべての子ども・若者が生まれた境遇に依らず  
別け隔てなく安心して過ごし、豊かに成長できる  
地域社会の実現を目指します。



①<事務所>  
松戸市本町13-27  
子育てつながるセンターco-no-mi



②<さんまのいえ  
ミニ食堂・居場所>  
松戸市古ケ崎834



②<樋野口こども館  
松戸市事業委託>  
松戸市古ケ崎543  
青少年会館樋野口分館内

## ①<事務所>

松戸市本町13-27

松戸唯一民間で運営する  
子育てつながるセンターco-no-mi

- 子育てを中心に情報発信
  - 乳幼児親子さんが利用できる  
らっこるーむ開催
  - 子育て相談窓口（就労・子育て）
  - レンタルスペース
- 
- 野の花サポート（女性対象）相談窓口

主な関係機関  
まつど市民活動センター  
男女共同参画課  
子ども家庭相談課等



3団体で運営  
NPO法人MamaCan  
NPO法人まつどNPO協議会  
NPO法人さんま

## ②<さんまのいえ ミニ食堂・居場所>

松戸市古ヶ崎834



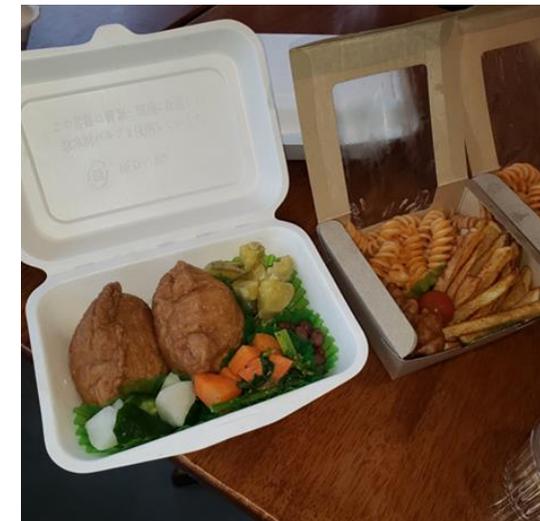
# こどもの居場所事業



コロナ前はみんなでメニューを考え作って食べていました



自粛期間にも「遊び」と「食」を届けました



協力  
新松戸  
FooCafe

地域で子ども・子育て応援！  
 地区でフードパントリー ほのぼの食堂・小金っ子食堂



- ・ 成嶋農園
- ・ 石井農園
- ・ 岩佐農園
- ・ 佐藤ベーカリー
- ・ 堀江良文堂書店
- ・ とうかつ草の根フードバンク
- ・ まつどフードバンク
- ・ 黄色いハンカチ
- ・ たんぽぽ文庫
- ・ 龍桂林



むすびえ様  
 東京おもちゃ美術館様等とのコラボ企画  
 「食」と「笑い」を子どもたちへ

Presented by  
 むすびえ 東京おもちゃ美術館

千葉県開催

食べる・遊ぶ・笑う  
**こども食堂**  
 in まつど

子ども 無料  
 大人300円

2021年3月8日(月) 15時～18時30分  
 さんま食堂 (会場：子育てつながるセンター-co-no-mi)

「食べる・遊ぶ・笑うこども食堂」は、  
 地域交流の場としての子ども食堂の可能性をひろげる、新たなチャレンジです。

笑う 遊ぶ

千葉県在住の草人  
 もぐもぐビーナッツ

おもちゃコンサルタント  
 中山ゆかり・磯 他

主催：NPO法人さんま  
 協力：まつどつながるプロジェクト運営協議会/まつど子ども食堂の会  
 共催：NPO法人 全国こども食堂支援センター むすびえ/東京おもちゃ美術館  
 協成：積水ハウス マッチングプログラム/中部電力



# 子どもたちへ～遊びから生きる力を～



松戸市から運営受託  
2020・12月より





# さんまのいえの ミニ食堂

10/19 (火)  
15時30分～17時30分  
カレーだよ

- 第2月曜日は、子育てつながるセンターCo-no-miでさんま食堂を開催しています。



コロナの感染状況により、お弁当の配布になる場合があります。

- 限定20食  
なくなり第次終了です
- 参加費 大人 300円  
こども 無料
- 場所 松戸市古ヶ崎834  
鈴木平屋2号



詳しくはNPO:法人さんま  
Facebookを見てね→



主催 NPO:法人さんま *Sma*

キッカケはは一組の親子のための  
居場所として

2021・10月より  
さんまのいえで  
ミニ食堂をオープン!

# 主に食の提供から

2021年度お弁当配布状況月3回開催 **2385食提供**

## ●さんま広場・さんま食堂

開催 毎月1回  
対象 子ども、保護者（ひとり親世帯含む）  
合計 1300食 458世帯 配達163/引取り295  
子ども780名 大人520名

## ●ひとり親ファミリー応援DAY

Humton (はむとん)様、カフェ・ド・カオリ様、  
とうかつ草の根フードバンク様協力

開催 毎月1回  
対象 ひとり親世帯、生活困窮世帯  
合計 910食 302世帯 配達188/引取り114  
子ども331名 大人579名

## ●おすそわけ こどもっとまつどさん協力

開催 毎月1回  
対象 ひとり親世帯、生活困窮世帯  
合計 175食



# 様々な活動から見えてきたこと

## 玄関先などで見える家庭の現実

- ・ ひとり親
- ・ 若年の母親
- ・ 兄弟姉妹が多い
- ・ 外国人
- ・ 保護者の成育歴、精神疾患
- ・ 子どもの発達障害
- ・ 保護者の非正規雇用
- ・ 養育力
- ・ DV避難家庭など

「それぞれの生活の中で優先されるもの」「親の日々の生活で精一杯など」

「公的機関だけでは担えない、こぼれ落ちてしまいやすい家庭、または機関につながっていても不安定な家庭、つながらない家庭、つながれない家庭」「子育てと仕事のみ」

「子どもの成長に合わせついてくる生活の不安定」「複合的な課題」「孤立」「負の連鎖」

「既存であるサポートと本人が求める支援のギャップ」「ヤングケアラー」「母親・父親の居場所」など

## 1) 具体的な「見守り」の活動

対象 ・ひとり親世帯（母、父）

- ・生活困窮世帯
- ・母親が精神疾患
- ・DV避難家庭

内容 毎月のお弁当の提供以外に本人よりの連絡により  
食料、リユースの洋服、おむつ、ミルク、離乳食などの提供

頻度 月1～2回主に食材などの提供、月2～3世帯に対して1回～2回

かかわり方 個別配布、居場所で食事提供、不登校の子どもへの学習見守りなど  
地域のイベントと一緒に参加する（子どもへの体験提供）

行政を通じてつながった家庭に対しては

訪問時の母親、子どもの状況など見て必要であれば関係機関と情報共有。（特に妊婦、新生児）

直接つながっている家庭とは様子をみながら具体的に困っていることなどないか訪問時に聞き、公的サポートなども紹介、つないだりもしている。

子どもの入学時にランドセル、制服、洋服のリユース、学用品などの提供。

生活保護、学校などの書類などを一緒に確認、申請など本人が不安な時は行政窓口へ同行支援

家庭によって不登校、進学などの問題もあり、子どもへのアプローチとして話を聞く

引っ越し、転入後の生活の整え（家電の手配、買い物同行など）

パート勤務の家庭のコロナ禍での保育園休園時の食の提供

## 具体的な「見守り」－1

母親、幼児3，5歳、0歳

もともと食材の提供などでかかわっていた家庭

急に母親と子どもだけが引っ越しすることになり洗濯機、掃除機手配。

家電がそろうまで洗濯のサポート、食料の提供など行う。

引っ越し直後は10日に一回ぐらい食材、おむつなど提供。子どもと遊びながら話を聞く。その後2週間に一度、1か月に1～2回の訪問。

子どもが小さいため、一人具合が悪くなると買い物など行けないため、食料、おむつなどのサポートを行った。

母親、幼児3

事情があり他市より転入してきた。食材の提供をきっかけにサポートが始まる

生活用品をそろえるため買い物の同行月1回ぐらい

母親が体調が悪い時に子どもの保育園の送迎月1～2回

母親の病院の付き添い

市役所への書類申請などの同行

引っ越しの荷物の梱包、引っ越し先での書類申請の同行、手伝い

## 具体的な「見守り」－2

母親、18, 16, 8, 6歳

母親が外国人のため子どもがLINE登録  
長女、次女から食料依頼の連絡が月1回ぐらい入る。  
玄関先で子ども達がみんな出てきてくれるので  
学校のイベントの話などしてくる。

父親 3, 2歳

月一回お弁当の配布。  
相談ということではないが、訪問時に子どもの保育園の様子、成長の様子など話をしている。

母親 4, 2歳

もともと母親とは小学生からのかかわり  
妊娠、出産、祖母との関係など何かあるたびに相談を受けている。

## 2) 工夫している点、留意していること

- ・ 主に個別の食材の提供からかわりがはじまるので、訪問時に支援内容の説明を丁寧にする。訪問する時間、曜日の希望を聞く。  
その時に公式LINEの登録を紹介している。またはその場で登録をすすめる。
- ・ ファーストコンタクトを大切にしている。特に個別に配達の時にはドアの後ろに立つなど相手がドアを広く開けてくれるまで無理強いしない。  
→玄関先にゴミ袋、家の中が片付いていないなどの状況の家庭もある。
- ・ なるべく家族構成合わせて食材の提供など心がける  
→料理が苦手な保護者には調理したものの、あまり手をかけなくても食べられるものの提供など
- ・ 食材だけではない支援が必要な場合にもできる範囲で対応
- ・ 子ども、親子への居場所の提供
- ・ 団体が抱え込まないよう関係性ができてから地域資源へつなぐ

### 抱えている課題点…団体として

- ・ スタッフの確保
- ・ 物資の寄付などはあるが団体運営費（人件費）などが出る助成金がすくない
- ・ 活動の周知、情報の提供
- ・ LINE会員のみへの周知になってしまう
- ・ ひとり親応援DAYのお弁当資金、緊急支援などの資金
- ・ 物価の値上がりなどの対応
- ・ サポート、見守り、寄り添い様々な視点、かわりの持ち方



ご清聴ありがとうございました。